

# 子供の癖に就て

誠之小学校長 杉浦 恂太郎

子供は癖の付かぬやう成るべく性情を順良に且つ高尚に育てたきことはいづれの両親も希望する所でありますが實際に就て調べて見ますと多くの子供の中には種々な癖を持つものが少なくありません 試に舉げて見ますと、

(一)泣き癖のある子供

(二)因循な子供

(三)朋達に親しまぬ子供

(四)依頼心の強き子供

(五)表情に表裏のある子供

(六)怒り易き子供

(七)移り氣の多き子供

(八)自分勝手の多き子供

(九)出しやばり過ぎる子供

(一〇)理窟を言ふ子供

(一一)虚榮好きの子  
(一二)物をかくす癖  
(一三)虚言の子供

(一四)野鄙なまねをする子供  
(一五)滑稽なまねをする子供

(一六)食物に好き嫌ひの多き子供

(一七)他人の事を聞きたがり又言ひたがる子供

(一八)嫉妬深き子供 (一九)人を羨む心の深き子供 (二〇)慘酷な癖のある子供

此の他まだ澤山ありますが以上の如き癖を其の儘放任して育てますと將來成長の後如何なる人になりませうか取り返しの出来ぬことであらうと思ひます、世に不良少年とか又は成長するに従つて親の心配を増す子女のあるのは早く之が矯正をしなければ結果と思ひます。勿論癖といふものは其の因つて来る所は單純なものではなく、おひ立ちの事情則境遇に基くものと、性來に因るものとあります、いづれも矯正し又は改めしむることの出来ぬものではないと考へますよし完全に出来ぬまでも努力を怠るべきものでありません、唯餘程

至難の業であると思ひます、さうして其の早ければ早き程効果の多きことは申までもないことであり、之が矯正の任に當るものは家庭、幼稚園及學校であることは勿論であります、則ち父母、保母及教師が能く方針を一致し、相互に助け合つて従事することが肝要であります、前に舉げました事實の矯正方法に就て聊鄙見を述べて諸賢の教を乞ひたいと考へます。

すべて子供を教育するには其の善い所と悪しき所とを常に能く調べて其の善い所は自信させて勵まし其の悪しき所は事情を詳にして改善に向ふやう適當の所置と方法を考へて無理の無きやうにしなければ効果を得ることは出来ぬものであります、然るに實際世間の子供を育てる様子を見ますと徒らに子供の悪しき所のみを責めて其の善い所は顧みぬ風が往々あります、それ故其の子供の癖を矯正しやうとしてかへつて其の性情を傷ふやうな事實を生じます子供は其の時々の思つきの所置

を施したのみでは決して教育することは出来ませぬ、家庭、幼稚園、學校にては思ひを致すべき大切のこと、考へます。(ついで)

○嫁け方の問題 (一)

今年五歳の女兒、いままで買ひ喰ひなどの習慣は一度もない。またお小遣も與へません。或日のこと家庭で與へないお菓子を持つて居ますから、どうしたのかと聞きましたら、横町のお菓子屋の叔母さんに貰つたと答へました。早速其の駄菓子屋へ行つて調べて見ると、嬢ちゃんがいづもになく店のお菓子を呉れと仰せあつたから差上げましたといふ返事。尙よく前後の事情を調べて見ると、其の女兒の遊び友達がお小遣を以て買つて行つたのを見て、自分も欲しくなり、さういへば貰へるものと思ひ、呉れといつたのであるらしい。母親は勿論其の菓子屋へ代を拂ひますが、其の子に對しては如何なる處置をとつたが良いでせうか。